

受託調査研究の一環として刊行された刊行物



『国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策事業報告書2 特別史跡高松塚古墳生物調査報告』

文化庁と東京文化財研究所の編集で、国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策調査事業で行われた高松塚古墳壁画の生物被害に関する調査研究の成果を纏めた報告書。本書は壁画が発見されてから現地保存を経て石室解体に至るまでの間に行われた微生物による壁画の劣化原因調査を中心に、学術的な研究成果も含めて報告するものである。2019年9月刊行、同成社、598ページ。

(受託研究 国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策に関する調査等業務の一環として刊行)

『ネパールの被災文化遺産保護に関する技術的支援事業総括報告書』

平成28年度から令和元年度にかけて文化庁委託文化遺産国際協力拠点交流事業「ネパールの被災文化遺産保護に関する技術的支援事業」として実施した調査の成果をまとめた報告書。2015(平成27)年のゴルカ地震で被災した歴史的建造物、歴史的集落ならびに無形文化遺産の復旧、修復及び保全に関する諸調査及び支援事業の内容を収録。日本語。2020年3月刊行、204ページ。

(令和元年度上記受託事業の一環として実施)



『ブータン王国の歴史的建造物保存活用に関する拠点交流事業—保存候補民家の修理計画及び保存活用計画検討—文化遺産としての民家の価値評価手法の検討—』

令和元年度の文化庁委託文化遺産国際協力拠点交流事業として実施した調査の成果をまとめた報告書。ブータンにおける民家建築等の文化遺産としての評価方法、また保存候補民家の保存技術や活用計画等に関する諸調査の内容を収録。日本語・英語、2020年3月刊行、43ページ。

(令和元年度上記受託事業の一環として実施)

『第25回文化遺産国際協力コンソーシアム研究会「文化遺産保護の国際動向—世界文化遺産・無形文化遺産・水中文化遺産—」報告書』

本冊子は、2019(令和元)年7月24日に開催された第25回文化遺産国際協力コンソーシアム研究会「文化遺産保護の国際動向—世界文化遺産・無形文化遺産・水中文化遺産—」の内容をまとめた報告書である。日本語、2020年3月刊行、50ページ。

(文化遺産国際協力コンソーシアム事業の一環として実施)





文化遺産国際協力コンソーシアム『シンポジウム「文化遺産の意図的な破壊―人はなぜ本を焼くのか―」報告書』

本冊子は、2019（令和元）年12月1日に開催された同名のシンポジウムの内容を書き起こしたものである。日本語、2020年3月刊行、76ページ。

（文化遺産国際協力コンソーシアム事業の一環として刊行）

『第26回文化遺産国際協力コンソーシアム研究会「文化遺産とSDGs II―世界では、いま何が語られているのか―」報告書』

本冊子は、2020（令和2）年1月31日に開催された第26回文化遺産国際協力コンソーシアム研究会「文化遺産とSDGs II―世界では、いま何が語られているのか―」の内容をまとめた報告書である。日本語（一部英語）、2020年3月刊行、64ページ。

（文化遺産国際協力コンソーシアム事業の一環として刊行）



『文化遺産国際協力コンソーシアム令和元年度国際協力調査（インドネシア）報告書』

本冊子は、文化遺産国際協力コンソーシアムが令和元年度に行った、インドネシア・スラウェシ島における国際協力調査の報告書である。2018（平成30）年に起こった地震による被害の概要や、現地の文化遺産に関する聞き取り調査の結果について掲載している。日本語、2020年3月刊行、80ページ。

（文化遺産国際協力コンソーシアム事業の一環として実施）

